

岸田首相 総裁選不出馬

「身を引き けじめ」

岸田文雄首相は14日、官邸で記者会見し、9月の自民党総裁選に立候補しないと表明した。自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件について「私が身を引くことでけじめをつけ、総裁選に向かっていきたい」と責任を取る考えを示した。岸田内閣は2021年10月の発足から3年で退陣する。自民は首相の表明を受け、総裁選で後任を選出する。



記者会見で自民党総裁選への不出馬を表明する岸田首相
14日午前11時31分、首相官邸

首相は不出馬について 候補への意欲を伝達した。「自民が変わると示す最も分かりやすい最初の一步は私が身を引くことだ」と明言。裏金事件に関し「所属議員が起こした重大な事態について、組織の長として責任を取ることにちゅうちょはない」と強調した。

首相は再選出馬を模索してきたが、内閣支持率は20%台に低迷。首相の下では次期衆院選で苦戦は免れないとして、党内から交代を求める声が上がっていた。菅義偉前首相に続き、現職の首相が総裁選で不出馬に追い込まれる形となる。

総裁選を巡っては、石破茂元幹事長が出馬意向を事実上表明。河野太郎デジタル相も麻生太郎副総裁に立

首相は「総裁選を通じて選ばれた新たなリーダーを一兵卒として支えることに徹する」と述べた。

岸田政権では、21年10月の衆院選で追加公認を含めて自民が絶対安定多数を確保。22年7月の参院選も大勝した。22年12月には反撃能力(敵基地攻撃能力)保有を明記した国家安全保障戦略を策定。23年5月には広島で先進7カ国(G7)首脳会議を開催した。